

1. 単元名

Let's Read 2 Landmines and Aki Ra

2. 単元の目標

- ・英語の文章を「聞くこと」、「読むこと」を通して理解する。 (知識・技能)
- ・当時カンボジアに住んでいた人の状況や感情を考え、考えたことを英語で表現する。 (思考・判断・表現)
- ・文章が書かれた当時と現在、Aki Ra と自身を比較し、未来の平和な世界のために何ができるのかを主体的に調べ、考える。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、カンボジアに生まれ、多くの困難を経験した1人であるアキラが書いた文章を扱う。2年間を通して学んだ文法や単語を用いてこの文章を理解し、地雷の恐ろしさと、その恐ろしさを伝えるために尽力した1人の人生について知り、平和への社会貢献について、関心を高め、自らが現在の社会問題を調べ、その解決のために何ができるかを考え、英作文にする。

この文章の舞台であるカンボジアには現在も推定 400～600 万の地雷が埋まっており、埋設密度は世界一と言われている。今でも多くの人々が傷付き、命を落とし、危険と隣り合わせで暮らしている。政府機関や非政府組織などが地雷除去に取り組んでいるが、その数はなかなか減っていない。この文章の1人称であるアキラは5歳の時に両親を殺害され、10歳の頃には兵士として戦闘に駆り出されていた。停戦後は地雷処理を手伝い、1999年にはカンボジアを安全な国にしたい一心で、自宅兼「地雷博物館」を開設した。そこでは資料の展示だけでなく、戦争孤児の受け入れ先として子どもたちをそこに住ませ養育している。そしてそそ子どもたちと劇を通してカンボジア内戦の歴史を伝えている。

本単元をESD教材として取り上げる意義は、アキラの半生を知り、未来の平和のための社会貢献について、考え、話し合うことができる点にあると考える。また、カンボジアの地雷除去のために国際的に協力している団体を取り上げ、生徒が実際に現地で社会貢献をするための情報を伝えることで、生徒自身が国際協力について考える1歩にしてほしい。

(2) 生徒観

多くの生徒は平和学習において、過去の出来事として学んでいる。また、それらの多くは日本に関連することである。現在の日本において、地雷での被害はないため、カンボジアで戦争が起こったために地雷で苦しんだ人がいること今でも被害を受けている人がいるということを想像するのは難しいと考える。そこで、実際に地雷に苦しみ、地雷のない世界を目指したアキラの話を読み、平和への社会貢献について、関心を高め、考えたい。2学期には人権学習として、沖縄戦を扱った映画を視聴した。そこで感じたことと、今回の学習を重ね合わせ、来年度の修学旅行での平和学習に繋げる。

(3) 指導観

本単元と学習指導要領との関わりは以下の通りである。

(2) 読むこと

ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。

(4) 話すこと [発表]

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。

(5) 書くこと

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

今回取り扱う「社会的な話題」は地雷をはじめとする負の遺産、そしてその先にある平和である。地雷が今も人間を苦しめていることを学び、平和について考えることを通して自分に何ができるかを考える。

第1次では文章の理解を主に取り扱う。すべての文を訳すのではなく、段落ごとに区切り、その段落の要点を確認する作業をグループで行う。その後、TF、Q&Aを解き、内容が理解できているかどうか確認する。

第2次では前次で把握した内容をもとに、音読の練習を行う。その際、要点、キーワードを強調し、文章に抑揚をつけることを意識するようにする。

第3次では前次までに学んだ内容を深め、平和のために自身ができることを考え、英作する。そして、それを共有することで生徒同士の意見交流の場を設ける。

・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

D 公平性：自分自身だけでなく、世界の人々や将来の世代にとってのよりよい世界を考える。

F 責任性：Aki Ra の「地雷のない世界、平和な世界」のための取り組みについて考え、自分にできることを探す。

・本学習で育てたい ESD の資質・能力

○多面的・総合的に考える力 (システムズ・シンキング)

自分の身の周りだけでなく、世界平和のためにできることを考える。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

○世代間の公正

地雷などの社会問題を考え、解決し、より良い世界を将来の世代に残す。

・達成が期待される SDGs

16 平和・公正：地球上のすべての人が安心して暮らすことができるように考え、行動する。

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①文章中の英単語や文法を理解し、内容を理解している。	①当時の状況を知り、考えたことを表現する。	①未来の平和のためにできることは何か、興味・関心を持って考えている。
②感情を表す表現を使って自身の文章を作る。	②内容が伝わるように感情豊かに音読する。	

5. 単元の指導計画（全4時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△）
1	<p>●プレ活動</p> <p>YouTube や、教科書の写真を見て、感想を英語で伝え合う。</p> <p>●新出単語の確認</p> <p>正しい発音を確認する。</p> <p>●内容理解</p> <p>グループに分かれ、段落ごとに大まかな内容を確認する。</p> <p>●TF、Q&A</p> <p>文章が理解できているか、内容を問う問題を解く</p>	<p>・当時起こっていた内戦や地雷の歴史や現状を補足する。</p> <p>・感情を表す表現が出てこない生徒には教科書 p.139 を見るよう指示。</p> <p>・本文の日本語訳を空所補充形式で確認する。</p> <p>・2年生で習った文法を復習する。</p> <p>・パワーポイントで問題を提示する。</p>	<p>△イ①</p> <p>△ア②</p> <p>△ア①</p> <p>△ア①</p>
2	<p>●音読の注意点確認、役割決め</p> <p>段落ごとに重要な文、単語を考える。</p> <p>グループで段落ごとに読む担当を決める。</p>	<p>・グループでの音読なので、スローラーナーに負担がかかりすぎないように調節する。</p>	

	<p>●音読練習 段落ごとの場面を意識してグループ読みをする。</p> <p>●発表 2 グループごとにペアになり、音読を発表し合う。</p>	<p>・場面や様子が伝わるように、強弱や、抑揚を意識する。</p> <p>・終了後、相手グループの音読を聞いて、工夫している点、良いと感じた点を伝え合う。</p>	<p>△イ②</p>
<p>3</p>	<p>●内容の振り返り 本文の内容を再確認する。</p> <p>●カンボジアの現状を知る。 カンボジア地雷撤去キャンペーンの動画を視聴し、現在も地雷が残っていること、それによって傷ついている人がいることを確認する。</p>	<p>・内容確認は Q&A で行う。</p>	
<p>本文の最後に書かれてある平和な世界をつくるためにあなたができることは？</p>			
	<p>●英作 上記のテーマで 30 語程度の英作をする。</p> <p>●発表 4 人グループを作り、1 人ずつ発表する。</p> <p>●感想 他の人の意見を聞いて感じたこと、考えたことを書く。</p>	<p>・15 分で書くように指示する。 ・早く書き終わった生徒は周りの生徒の補助を行う。</p> <p>・発表者は相手に伝わるように話すように意識する。聞き手は聞き取った内容をメモする。</p> <p>・英語で書く。 ・書ききれなかった場合は宿題にする。</p>	<p>△ウ①</p> <p>△ウ①</p>